

社会・環境報告 (CSR)  
**化学物質管理**

化学物質は優れた機能がある一方で、使い方を誤ると人の健康や環境に悪影響を及ぼします。  
 富士電機は化学物質を適正に管理するとともに、排出削減に取り組んでいます。

**化学物質の管理・削減**

富士電機は、大気汚染防止法に基づいた電機・電子4団体の自主行動計画に基づき、2010年度までにPRTR法(化学物質排出把握管理促進法)制度対象物質の環境への排出量と、揮発性有機化合物(VOC)の大気排出量を、ともに2000年度比40%削減するという目標を設定しています。

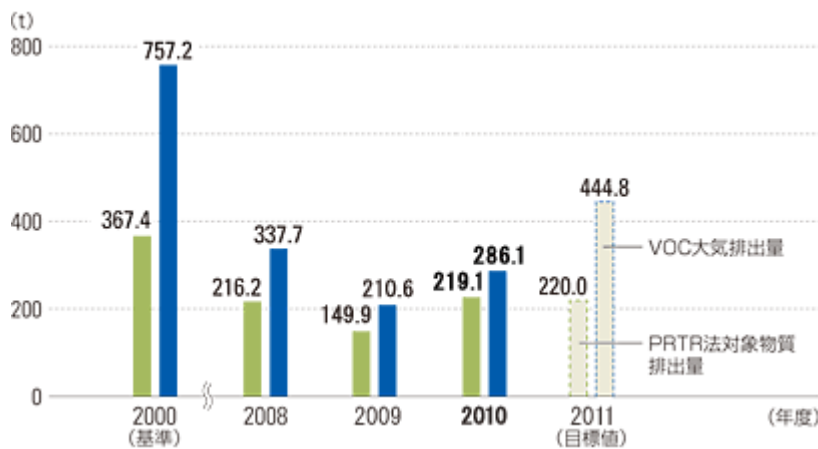
2010年度のPRTR法対象物質の排出量は219.1トンであり、2000年度比40.4%削減となりました。また、VOC大気排出量は286.1トン、2000年度比62.2%の削減となり、いずれも上記の目標を達成しました。

これらの削減の背景には、主に製造・生産技術や品質上の問題を克服しながら代替物質への切り替えに取り組んだことや、これまでの環境設備投資の効果が着実に反映されたことがあげられます。

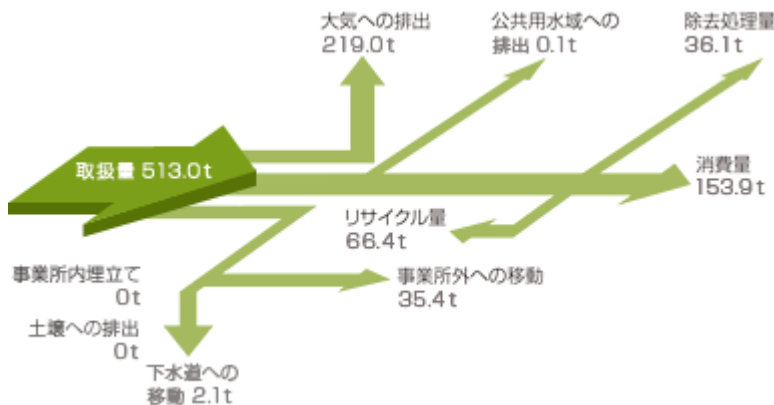
2011年度からは、関係省庁の方針や電機・電子4団体の取り組みに沿って、新たに目標・計画を設定する計画です。それらが決定するまでは、暫定措置として2010年度目標(2000年度比40%削減)を維持するとともに、拠点再編や設備更新による生産効率の向上によって、一層の削減に取り組めます。

なお、VOCの大気排出量については、「電機・電子業界における揮発性有機化合物(VOC)に関する自主行動計画」に報告しています。

VOC大気排出量・PRTR法対象物質排出量の推移(国内)



PRTR法対象物質マテリアルバランス



Copyright©2012 Fuji Electric Co., Ltd. All Rights Reserved.